



令和3年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和3年5月6日

上場会社名 株式会社東計電算

上場取引所 東

コード番号 4746 URL <http://www.toukei.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役副会長執行役員 (氏名) 甲田 英毅

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 瀬名波 潤

TEL 044-430-1311

四半期報告書提出予定日 令和3年5月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和3年12月期第1四半期の連結業績(令和3年1月1日～令和3年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
3年12月期第1四半期	4,259	2.0	892	10.4	973	1.9	693	4.5
2年12月期第1四半期	4,174	8.6	996	11.1	992	3.5	663	0.9

(注) 包括利益 3年12月期第1四半期 1,628百万円 (%) 2年12月期第1四半期 1,822百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
3年12月期第1四半期	75.00	74.60
2年12月期第1四半期	72.10	71.58

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
3年12月期第1四半期	33,881	27,564	81.3	2,977.56
2年12月期	33,473	27,075	80.8	2,927.57

(参考) 自己資本 3年12月期第1四半期 27,541百万円 2年12月期 27,050百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2年12月期		0.00		125.00	125.00
3年12月期					
3年12月期(予想)		0.00		125.00	125.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和3年12月期の連結業績予想(令和3年1月1日～令和3年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,128	6.4	1,478	14.3	1,741	18.0	1,207	10.2	130.66
通期	17,136	8.1	3,567	22.9	4,053	23.8	2,814	12.3	304.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料の8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

3年12月期1Q	9,350,000 株	2年12月期	9,350,000 株
----------	-------------	--------	-------------

期末自己株式数

3年12月期1Q	100,405 株	2年12月期	109,995 株
----------	-----------	--------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

3年12月期1Q	9,247,123 株	2年12月期1Q	9,202,166 株
----------	-------------	----------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の経済環境予想等の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	
(第1四半期連結累計期間)	6
(四半期連結包括利益計算書)	
(第1四半期連結累計期間)	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
3. その他	9
継続企業の前提に関する重要事象等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により個人消費が抑えられていたものの、大企業製造業においては、米中を中心とした世界経済の持ち直しを背景に、円安の進行も追い風となり、3四半期連続で改善しました。一方、非製造業においては、業種によってはばらつきが大きく、緊急事態宣言の再発令により宿泊・飲食サービス関連が大幅に悪化しました。

当業界におきましても、ユーザ企業における情報化投資計画は、前年度の反動もあり、比較的堅調な水準にありますが、コロナ禍がいつ収束するか不透明な状況が長期化する場合、その影響が懸念されております。

このような環境のなかで、当社グループは、システムインテグレータとして、多様化するお客様のニーズにフレキシブルに対応するため、業種別ソリューション、アウトソーシング、ネットワークの3つの重点戦略を掲げ、積極的に営業展開を進めてまいりました。

具体的には、SaaS業務の売上拡大を企図し、商品化の促進やシステム運用業務売上の拡大を重点施策として掲げ、取り組んでまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高42億59百万円（前年同期比2.0%増）、営業利益8億92百万円（同10.4%減）、経常利益9億73百万円（同1.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益6億93百万円（同4.5%増）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりであります。

(情報処理・ソフトウェア開発業務)

情報処理・ソフトウェア開発業務としましては、ソフトウェア開発業務、システム運用業務、ファシリティサービス業務等であります。当第1四半期連結累計期間においては、システム運用業務及びファシリティサービス業務が堅調に推移したものの、ソフトウェア開発業務において前期に発生した不採算プロジェクト収束にかかる費用がかさみ、売上高は38億33百万円（前年同期比4.9%増）、営業利益は7億95百万円（同11.0%減）となりました。

(機器販売業務)

機器販売業務としましては、当社で開発したシステムに必要なハードウェアの販売等であります。当第1四半期連結累計期間においては、前期における特定のユーザ向けハードウェア入替需要があった反動により、売上高は3億25百万円（前年同期比20.5%減）、営業利益は75百万円（同3.3%減）となりました。

(リース等その他の業務)

リース等その他の業務としましては、各種事務用機器のリース、ビル・マンションの不動産賃貸業務であります。当第1四半期連結累計期間においては、ビル・マンションの不動産賃貸業務は堅調であったものの、事務用機器のリースが、対象顧客である建設業界が新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、需要が減少したため、売上高は1億円（前期比10.2%減）、営業利益は21百万円（前期比10.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は71億14百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億84百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が11億34百万円、その他が3億59百万円、それぞれ減少したことによるものであります。固定資産は267億66百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億92百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券が15億51百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は338億81百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億8百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は47億52百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億45百万円減少いたしました。これは主に未払法人税等が3億37百万円、その他が3億9百万円、それぞれ減少したことによるものであります。固定負債は15億63百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億63百万円増加いたしました。これは主に繰延税金負債が3億63百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は63億16百万円となり、前連結会計年度末に比べ81百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は275億64百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億89百万円増加いたしました。これは主にその他有価証券評価差額金が9億33百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は81.3%（前連結会計年度末は80.8%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、令和3年2月8日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和2年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和3年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,627,730	492,973
受取手形及び売掛金	2,457,250	2,786,064
有価証券	1,367,500	1,419,615
商品	13,218	13,722
仕掛品	1,058,811	987,098
関係会社短期貸付金	12,291	12,291
その他	1,763,039	1,403,311
貸倒引当金	△229	△269
流動資産合計	8,299,612	7,114,805
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,047,103	2,070,639
機械装置及び運搬具(純額)	23,217	21,272
土地	4,498,025	4,498,025
その他(純額)	465,814	447,705
有形固定資産合計	7,034,162	7,037,643
無形固定資産		
のれん	1,999	1,499
その他	134,459	172,726
無形固定資産合計	136,459	174,226
投資その他の資産		
投資有価証券	17,872,060	19,423,690
退職給付に係る資産	80,475	80,743
繰延税金資産	1,001	1,357
その他	49,309	48,806
貸倒引当金	△42	△42
投資その他の資産合計	18,002,805	19,554,556
固定資産合計	25,173,427	26,766,426
資産合計	33,473,040	33,881,232

(単位:千円)

	前連結会計年度 (令和2年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和3年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	586,984	519,634
未払法人税等	708,200	370,550
賞与引当金	277,722	556,157
役員賞与引当金	9,480	—
その他	3,615,248	3,306,228
流動負債合計	5,197,635	4,752,570
固定負債		
役員退職慰労引当金	24,892	24,990
繰延税金負債	1,167,997	1,531,835
その他	7,013	7,013
固定負債合計	1,199,902	1,563,838
負債合計	6,397,537	6,316,408
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,370,150	1,370,150
資本剰余金	1,400,542	1,403,265
利益剰余金	21,346,366	20,884,918
自己株式	△166,396	△151,911
株主資本合計	23,950,662	23,506,422
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,117,282	4,050,312
退職給付に係る調整累計額	△17,140	△15,519
その他の包括利益累計額合計	3,100,142	4,034,792
新株予約権	24,242	23,154
非支配株主持分	454	453
純資産合計	27,075,502	27,564,823
負債純資産合計	33,473,040	33,881,232

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和2年1月1日 至 令和2年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和3年1月1日 至 令和3年3月31日)
売上高	4,174,604	4,259,016
売上原価	2,635,152	2,777,099
売上総利益	1,539,451	1,481,917
販売費及び一般管理費	543,099	589,508
営業利益	996,351	892,408
営業外収益		
受取利息	11,736	20,169
受取配当金	71,261	63,254
有価証券償還益	13,224	16,805
受取和解金	28,612	—
雑収入	3,341	21,937
営業外収益合計	128,175	122,166
営業外費用		
支払利息	101	—
有価証券償還損	129,799	39,274
雑損失	1,679	1,518
営業外費用合計	131,580	40,793
経常利益	992,947	973,782
特別利益		
投資有価証券売却益	111,341	50,909
特別利益合計	111,341	50,909
特別損失		
固定資産除却損	0	7,708
投資有価証券売却損	13,831	13,666
投資有価証券評価損	125,397	—
特別損失合計	139,229	21,374
税金等調整前四半期純利益	965,059	1,003,317
法人税、住民税及び事業税	353,844	357,993
法人税等調整額	△52,267	△48,238
法人税等合計	301,577	309,755
四半期純利益	663,482	693,562
非支配株主に帰属する四半期純利益	11	9
親会社株主に帰属する四半期純利益	663,471	693,552

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和2年1月1日 至 令和2年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和3年1月1日 至 令和3年3月31日)
四半期純利益	663,482	693,562
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,488,047	933,029
退職給付に係る調整額	1,676	1,620
その他の包括利益合計	△2,486,370	934,649
四半期包括利益	△1,822,888	1,628,211
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,822,899	1,628,202
非支配株主に係る四半期包括利益	11	9

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

法人税等及び繰延税金資産の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しましては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度以降に経営環境等、且つ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自令和2年1月1日 至令和2年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	情報処理・ ソフトウェア開発業務	機器販売業 務	リース等そ の他の業務	計	調整額	四半期連結損 益計算書計上 額(注)
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	3,653,836	408,756	112,011	4,174,604	—	4,174,604
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,305	—	241	1,547	(1,547)	—
計	3,655,141	408,756	112,253	4,176,151	(1,547)	4,174,604
セグメント利益	893,950	77,970	24,431	996,351	—	996,351

(注) セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自令和3年1月1日 至令和3年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	情報処理・ ソフトウェア開発業務	機器販売業 務	リース等そ の他の業務	計	調整額	四半期連結損 益計算書計上 額(注)
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	3,833,245	325,153	100,617	4,259,016	—	4,259,016
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	567	—	1,395	1,962	(1,962)	—
計	3,833,812	325,153	102,012	4,260,978	(1,962)	4,259,016
セグメント利益	795,191	75,429	21,788	892,408	—	892,408

(注) セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。